



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

パプアニューギニア独立国

— 2021年度 地域巡回機能回復等推進事業 —

(終了時評価—2022年4月)

プロジェクトの概要

国名	パプアニューギニア独立国
プロジェクト名	2021年度 FDAPIN VII プロジェクト
実施期間	2021年8月25日(覚書署名)～2022年3月31日
覚書署名省庁名 及び 事業実施機関	覚書署名省庁 : 水産公社 (NFA : National Fisheries Authority) 実施機関 : 水産公社

プロジェクト実施の経緯と背景

パプアニューギニア独立国(以下「PNG」という。)は、「国家開発戦略計画(PAPUA NEW GUINEA DEVELOPMENT STRATEGIC PLAN 2010-2030)」において、地域漁民の漁業の確保のため、冷蔵施設及び漁船・その他機器の提供等を重要な施策の一つとしている。これらの開発戦略計画の下、水産公社(以下「NFA」という。)は、各種の漁業振興計画を実施しているが、同国の水産関連施設は故障や老朽化或いは運営管理の不備により本来の機能を発揮することができず、漁業振興計画の推進に大きな支障を来している。

このような状況の中、NFAは、自国の



漁業振興計画を推進するため、公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設等の修理・修復及び技術移転並びに運営管理等に関する指導・助言についての要請を行った。

財団は、我が国と PNG との漁業関係の重要性を踏まえ、この要請に応え、同国政府の漁業振興計画を支援するため、本プロジェクトを実施する方針を決定した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業の生産性が向上し、小規模漁業が発展する。
プロジェクト目標	水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。
成 果	<p>オロ漁業センターの修理・修復及び技術指導（オロ州）</p> <p>資機材は予定どおり現地に到着したものの、先方政府負担による対象施設の改修工事が完了していなかったことから、主たる技術指導内容であった製氷機等の設置等を実施することができなくなり、NFA と合意の上、翌年度に設置することとした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響による渡航規制により専門家を派遣することができなかったものの、マニュアル等の教材を作成・送付し、電話やメール等のツールを併用して遠隔指導を実施した。詳細な資機材リスト並びに製氷機、冷凍庫及びブラストフリーザーの設置マニュアル等をカウンターパートと共有することにより、これら装置の設置と運転時の留意点について、知識を向上させることができた。</p> <p>また、現地調達した車両（鮮魚・冷凍魚等運搬用ピックアップトラック）については、カウンターパートのみで乗り出しに必要な手続きを完了させることができた。</p> <p>なお、本邦購送資機材は 2021 年 12 月 23 日に LAE 港に到着していたものの、機材の設置工事及び技術指導の年度内の実施は不可能となったことから、2021 年度は本邦購送機材の提供のみとし、巡回指導は 2022 年度の案件として取り扱うための合意書を 2022 年 2 月下旬に取り交わした。</p>
活 動	<p>オロ漁業センターの修理・修復及び技術指導（オロ州）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製氷機、冷凍庫及びブラストフリーザーの設置に関する配線要領と試運転時の留意点に関する指導 ・ 車両の運用とメンテナンスに関する指導 ・ 車両以外の資機材について、翌年度に設置・使用するまでの間、劣化を防ぐ保管に必要な技術を指導した。

投 入	<p>財団側</p> <p>1) 専門家 計画 第1回巡回指導：チームリーダー／漁船機関・冷凍機器専門家 冷凍機器専門家 2022年2月上旬～2月下旬（21日間）</p> <p>実績 第1回巡回指導：チームリーダー／漁船機関・冷凍機器専門家 冷凍機器専門家 2021年11月1日～12月28日（48日）</p> <p>第2回巡回指導：チームリーダー／漁船機関・冷凍機器専門家 冷凍機器専門家 2022年1月4日～3月31日（87日）</p> <p>延日数 計画：42人日 実績：270人日（計画対比：643%） （注：派遣人日数の実績には、本邦でのマニュアル作成やチーム内でのオンライン打合せ、カウンターパートとの連絡等に費やされた日数が含まれる。また、専門家2名が4か国（PNG、ソロモン、ツバル及びフィジー）を対象とした遠隔での技術指導等を行っており、実績にはこれらの活動を行った期間が含まれる。）</p> <p>2) 主な資機材 ブロック型製氷機（日産800Kg）・砕氷機、冷凍庫（12 m³）、ブラストフリーザー（250kg/10h）、ピックアップトラック（シングルキャビン型）</p> <p>相手国側</p> <p>1) 主なカウンターパート NFC NFA</p> <p>2) プロジェクト関連予算、土地、施設等 オロ漁業センターの改修工事</p>
-----	---

評 価 事 項

◆ 妥 当 性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、PNGの国家開発戦略計画に基づくNFAの事業計画に合致した事業内容であり、妥当と判断される。

2. 協力ニーズ（対象国、対象地域）との整合性

PNG 政府は、国家開発計画の地域漁民のための冷蔵施設及び漁船等の取得を重要な施策の一つとしており、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言を要請されている。事前調査においてオロ州オロ漁業センターの修理・修復及び技術指導に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、冷媒及び機械の廃棄部品等の扱いについては、PNG の法規に従い、特に冷媒に関しては専用回収容器を用いる等、常に環境保全に配慮している。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図り、その運営・管理に対する助言を行うものである。

本プロジェクトを実施した結果、間接的に現地零細漁業者の漁業活動が活発になることが想定されるものの、漁獲圧力、水産資源への負荷とも限定的である。

5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

当該年度唯一の案件であったオロ漁業センターの修理・修復は、MOU 署名に先立ち、老朽化した同センターの上屋を PNG 政府資金で改修し、それが巡回指導前に完了することが実施条件であった。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響で PNG 国内の物流が滞り、改修工事は年度内に完工できないことが判明した。

効率性

1. 事業費及び実施期間

事業費についてはほぼ予算と同額であるが、一部実施を次年度にまわしていることから、必ずしも効率的とは言えない。

一方、実施期間については、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で専門家を現地へ派遣できなかったことから、リモートで技術指導を実施したため、リモート指導に必要な資料の作成等に時間を要した。なお、専門家は複数国を対象とした遠隔での技術指導及

び現地での技術指導等を併行して行っており、作成に要した時間は個々の国に振り分けることが出来ないことから、本項目は評価が困難と認められることから評価はしない。

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

現地調達した車両（鮮魚・冷凍魚等運搬用ピックアップトラック）については、専門家がリモートで整備スケジュール等をカウンターパートに指導した。

しかし、オロ漁業センター修理・修復の案件は、PNG 側によるセンター上屋建設が遅れ製氷機等の設置が完了しなかったため、関連技術を指導できなかった。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

本邦購送資機材の適切な保管及び新規車両の適切な使用について、専門家によるリモート指導が完了したことから、実施された移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたと言える。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限により、技術指導はメール等の手段を用いて遠隔で対応した

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等 新型コロナウイルス感染症の影響で専門家を現地に派遣できなかった。

◆ 有効性

1. プロジェクト目標の達成度

①プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：当該関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する

NFA の責任で行うべき上屋の改修工事が完了しなかったことは、新型コロナウイルスの影響を受けた PNG 国内物流遅延という不可抗力によるものである。本項目は評価が困難

と認められることから、評価はしない。

②その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

NFA は、これまでも漁業センターの改修工事を実施しており、過去の実績と信頼に基づき今回の案件採択に至ったが、不測の事態によりセンターの改修工事の進捗が遅れ、当初予定の実施内容は完了しなかった。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

<活動項目>

(1) オロ漁業センターの修理・修復及び技術指導

車両については引き渡し完了し、カウンターパートとオロ州政府に対し、運用とメンテナンスに関する指導を行った。

さらに、車両以外の資機材の漁業センター敷地内における長期保管について、NFA 及びオロ州政府の要望を聞き取りつつ技術的な指導を行った。具体的には、資機材の写真とともに利用目的や利用箇所を付記した資機材リスト並びに製氷機、冷凍庫及びブラストフリーザーの設置マニュアル等をカウンターパートと共有することにより、これら装置の設置・配線要領と試運転時のポイントを再確認し、関連の知識を更に高めることができた。

これら一連の技術指導を通じ、漁業センターのさらなる活用と維持・管理に関するカウンターパートの知識・技術レベルが一定程度向上したと思われる。

しかしながら、車両以外の資機材を使った技術指導を実施することができなかったことから、プロジェクト目標の一部を達成できず、当該案件は次年度案件として実施されることとなった。

◆ インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

新型コロナウイルス感染症の影響を受け PNG 国内物流が遅延したため、NFA の責任で行うべき上屋の改修工事が完了しなかった。このため、本項目は評価が困難と認められることから、評価はしない。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・

間接的な効果または負の影響が見込まれるか

新型コロナウイルス感染症の影響を受け PNG 国内物流が遅延したため、NFA の責任で行うべき上屋の改修工事が完了しなかった。このため、本項目は評価が困難と認められることから、評価はしない。

3. その他 (ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等)

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

本年度実施案件の大部分であるブロック型製氷機・砕氷機、冷凍庫、ブラストフリーザーの設置及び関連技術指導が実施できず、本項目は評価が困難と認められることから、評価はしない。

2. プロジェクト終了後も効果が持続される見込みか

本年度実施案件の大部分であるブロック型製氷機・砕氷機、冷凍庫、ブラストフリーザーの設置及び関連技術指導が実施できず、本項目は評価が困難と認められることから、評価はしない。

3. その他 (持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等)

特になし。

以上